



新しい千葉県が始動します

熊谷俊人千葉県知事が誕生します。さあ、新しい千葉県の始まりです！

県民党を掲げて戦った熊谷氏は自民党推薦の関氏に三倍以上の差をつけて大勝しました。熊谷氏の千葉市長十一年の実績が評価されたのでしょうか。県民の熊谷氏に対する期待の大きさがうかがえます。

投票率は三十九%と前回より八ポイント近く上昇しました。政治家の不祥事が続き低投票率が懸念されましたが、コロナ対策の陣頭指揮を執る人物を選ぶこともあり、関心が高まったと思われる。この結果に甘んじることなく、政治家全員が国民の信頼を取り戻すために、責任ある行動をとる必要があります。



衆議院議員
みやかわ伸

新知事
くまがい俊人

開票結果 投票率 38.99 %

 くまがい 俊人	1,409,496 票
関 まさゆき	384,723 票
かなみつ 理恵	122,932 票
皆川 真一郎	20,256 票
平塚 正幸	19,373 票
加藤 けんいちろう	15,986 票
河合 ゆうすけ	15,166 票
ごとう てるき	12,150 票

まずは新型コロナウイルス対策です。緊急事態宣言が解除されましたが、再度宣言が必要にならないように、新知事の手腕に期待します。特に、①高齢者施設とエビセーターでの徹底したPCR検査 ②医療体制の充実 ③ワクチン接種——これらの課題を迅速に解決していく必要があります。

新知事と連携し、県民の「命と暮らしを守る」ために全力で取り組んでいきます。



#持続化給付金の再給付を求める

持続化給付金再支給法案を三月十九日に衆議院に提出しました。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響で、飲食店以外の業種からも悲鳴が上がっています。しっかりと手を差し伸べる必要があります。

立憲民主党は「要請と補償は一体」と考えています。罰則により自粛させるのではなく、十分な補償をすることで感染を抑えるのです。

やっと一時支援金の募集が始まりま



みやかわ伸

3月19日に法案を国会に提出しました。みやかわ伸も法案作成者の一人として同席しました。

保健所に救急救命員を配置

熊谷俊人前千葉市長が同市で取り組んだ、保健所の強化策を国会で取り上げました。

コロナ対策の中心は保健所です。陽性者の対応や濃厚接触者の特定など、感染を拡大させないために保健所が担っている役割はとても大きいのです。

しかし、第三波では急激な陽性者の増加で、保健所の機能がオーバーしてしまいました。

本来、陽性者は病院もしくはホテル療養することになっていますが、病院が逼迫し、ホテルが十分に用意されず、自宅待機者が急増しました。この方々の様態が急変した場合、千葉県は保健師さんが対応していました。特に夜間救急の対応は過酷でした。

ある保健師さんのお話では「午前三時の寝ている時に電話がかかってきて、病院を探して欲しいとのこと、約六十件電話したけれど見つからない。やっと朝の八時半になって見つかった」そうです。探している間に命を落とすかもしれないというプレッシャーで、泣き崩れる方もいたそうです。

昼間に仕事をして、夜も救急対応するのは無理があります。熊谷氏に相

談したところ、「本来、病院調整は保健師さんの専門分野ではなく、消防の救急救命員の仕事です。千葉市では救急救命員を保健所に配置し、病院調整をお願いしたところ、保健師さんの負担が大きく減りました」との話を聞きました。

この千葉市の取り組みを「熊谷モデル」と名付け、全国に広めるために、国会で田村厚生労働大臣に紹介しました。

持続化給付金再支給法案のポイント

- ① 予算規模 **7兆円** (1回目の給付実績5.5兆円)
- ② 一度給付された事業者も再支給の対象
- ③ 給付要件を緩和し、給付対象を拡大する
- ④ 事業規模に応じた加算措置の検討

※現行制度：2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年及び前々年同期比で事業収入が50%以上減少した月があること。給付額の上限：普通法人等200万円、個人事業者100万円。

#持続化給付金の再給付を



みやかわ伸

予算委員会分科会 (2月26日)
田村憲久厚生労働大臣に熊谷モデルを紹介



田村憲久
厚生労働大臣